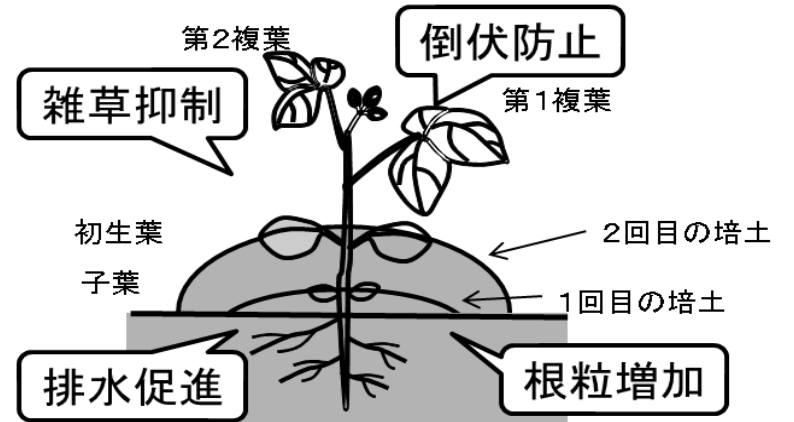


大豆管理情報 第3号

1. 適期の2回培土！！

培土作業は晴れ間を利用して速やかに行い、**必ず適期に2回実施しましょう！！**

- (1) 培土作業を行う前に、**培土板の調節や耕うん爪の点検を必ず行いましょう。**
- (2) 培土の効果を高めるため、**株元までしっかりと土をかけましょう。**
- (3) 土の上りを良くするため、可能な限り**ほ場が乾いている時に培土作業を行いましょう。**



【培土時期と高さの目安】

<良い培土：かまぼこ型>

1回目の培土時期

→ 2～3葉期（播種後 20～25 日頃）に子葉が埋まる程度に行いましょう。

2回目の培土時期

→ 4～5葉期（播種後 30～35 日頃）に初生葉が埋まる程度に行いましょう。

2. 排水対策

降雨後の雨水の停滞時間を短くするよう、排水溝の連結と手直しを行いましょう。

- ・培土によってできた溝と額縁排水溝の連結
- ・深く掘り下げた排水口と排水溝の連結
- ・額縁排水溝と基幹排水溝の崩れの手直し



3. 雑草防除

○しっかりと2回の培土を実施することで雑草の発生を抑えましょう。

○除草剤を使用する場合は、以下の表を参考に使用上の注意をよく確認し正しく使用しましょう。

種類	薬剤名	散布時期	対象雑草	10a 当たり散布量	使用方法	使用回数
選択性除草剤	ポルトフロアブル	雑草生育期 イネ科雑草 3～10 葉期 (収穫 30 日前まで)	イネ科 1 年生雑草 (スズメノカタビラ除く)	200～300ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布	1回
	大豆バサグラン液剤 注1)	大豆の2葉期～開花前 雑草の生育初期～6葉期 (収穫 45 日前まで)	1 年生雑草 (イネ科を除く)	100～150ml (水 100ℓ で希釈)	雑草茎葉散布	1回
	大豆の生育期 雑草の生育初期～6葉期 (収穫 45 日前まで)	300～500ml (水 100ℓ で希釈)		畦間雑草 茎葉散布 【吊り下げノズルが必要】		
非選択性除草剤	バスタ液剤 注2)	大豆 5 葉期～雑草生育期 (収穫 28 日前まで)	1 年生雑草	300～500ml (水 100～150ℓ で希釈)	畝間・株間処理 【吊り下げノズルが必要】	ゲルホシネット及び ゲルホシネットP 3 回以内
	ザクサ液剤 注2)	雑草生育期 (収穫 28 日前まで)	1 年生雑草	300～500ml (水 100～150ℓ で希釈)	畝間処理 【吊り下げノズルが必要】	ゲルホシネット及び ゲルホシネットP 3 回以内
	ラウンドアップ マックスロード 注2)	雑草生育期 (収穫前日まで)	1 年生雑草	200～500 ml/10a (水 100ℓ で希釈)	畝間処理 【吊り下げノズルが必要】	4 回以内

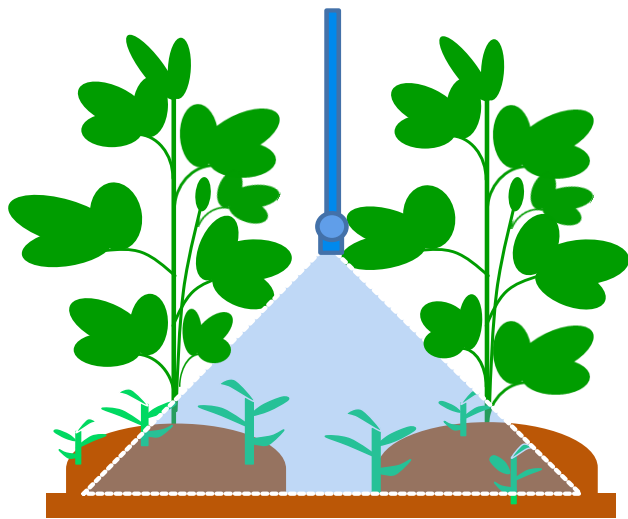
注1：大豆バサグラン液剤は高温時の使用で薬害が出る恐れがあるため、高温が続くと予想される場合は使用を避ける。

注2：バスタ液剤・ザクサ液剤・ラウンドアップ マックスロードは非選択性除草剤のため、大豆にかからないように十分注意する。

『吊り下げノズルを使用する際の除草剤散布のポイント』

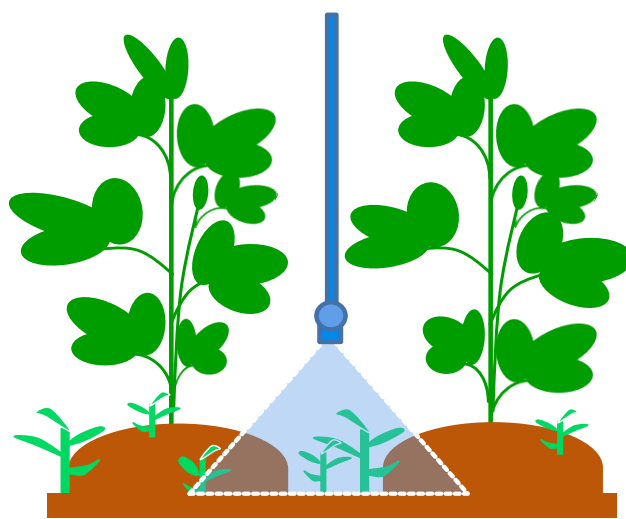
- ・ 吊り下げの専用ノズルを使用 しましょう。
- ・ 大豆の大きさや処理方法によってノズルの高さや角度を調節 しましょう。
- ・ 雑草の草丈が小さいうちに、雑草全体に除草剤が十分付着するように散布 しましょう。

除草剤の使用方法【畝間・株間処理】と【畝間処理】の違い



畦間・株間処理

大豆の本葉にかからないよう
十分に注意



畦間処理

大豆にかからない
よう十分に注意



散布前に、大豆の大きさや処理方法に合わせて吊り下げノズルの高さを調節している。

【難防除雑草】 — 外から入れない、増やさない、外に出さない —

○帰化アサガオ類、イヌホオズキ類、ヒユ類等の発生がみられるほ場では、早期発見に努め、雑草が実を付ける前に防除(手取り、バスタ液剤やザクサ液剤等による除草剤散布)を徹底しましょう。



マルバルコウ
(帰化アサガオ類)



オオイヌホオズキ
(イヌホオズキ類)



アオゲイトウ
(ヒユ類)

4. 病害虫防除

ほ場を巡回し、病害虫の発生状況に応じて速やかに防除しましょう。

病害虫	薬剤名		防除の目安	備考
	粉剤	液剤		
葉焼病	撒粉ボルドー粉剤 DL 4kg/10a	Z ボルドー 500 倍 (10a 当り 300ml を水 150ℓ で希釈)	・発生が見られたら速やかに散布 ・シュウレイは 7 月下旬頃に予防散布を行う。	・強風雨で蔓延し、多発すると収量・品質低下をもたらす。
ウコンノメイガ	サイアノックス粉剤 4kg/10a	プレバソフフロアブル 5 4000 倍 (10a 当り 37.5ml を水 150ℓ で希釈)	・7 月末頃に 1 株あたりの葉巻数が 6 個以上。	・生育が旺盛で葉色が濃いほ場で発生が多い。
ハダニ類	—	マラソン乳剤 3000 倍 (10a 当り 50ml を水 150ℓ で希釈)	・黄化した葉が見られたら黄化葉の除去や薬剤の散布を行う。	・防除の際は、葉の裏に薬剤が十分かかるように散布する。

※農薬散布の際は、農薬使用基準を厳守し、周辺作物に飛散しないよう注意しましょう。